

共にがんばりましょう!



滋賀県知事
三日月 大造



チームしが代表
嘉田 由紀子
(参議院議員・前滋賀県知事)



チームしが
とともに力をひとつに!

- 連合滋賀会長 白木 宏司
- 元衆議院副議長 川端 達夫
- 衆議院議員 徳永 久志
- 衆議院議員 斎藤 アレックス
- 近江八幡市長 小西 理
- 竜王町長 西田 秀治
- 元近江八幡市長 川端 五兵衛
- 今江政彦後援会長 岡田 三正
(元近江八幡市助役)

今江まさひこ 後援会 規約 (抜粋)

本会は、今江政彦の政治活動を支援し、滋賀県における地方自治の発展と住民福祉の向上に寄与することを目的とします。本会は目的に賛同し、入会を希望する個人及び団体をもって構成します。会員の個人情報後援会活動以外には使用いたしません。

今江まさひこ 後援会事務所

〒523-0837 近江八幡市大杉町 30 番地 1
TEL (0748)36-5788 FAX (0748)36-5794
<E-mail> m-imaie@zc.ztv.ne.jp
<ホームページ> http://www.m-imaie.com

討議資料

今江まさひこの活動報告

今江まさひこは、新型コロナウイルス感染拡大に対応するための医療体制やワクチン接種の充実、感染拡大で影響を受けている事業者や県民への支援、原子力災害対策や流域治水政策など災害に強いまちづくりに取り組みました。

また、地球温暖化対策のためのMLGs(SDGsの琵琶湖版)やCO2ネットゼロ計画の推進、医療や福祉の充実、授業料無償化や少人数学級の推進など教育環境の充実、子ども医療費の無償化拡充など子育て支援、男女共同参画社会の推進、若者の雇用の確保、滋賀の農業や琵琶湖を守る取り組み、食の安全対策、中小企業の振興、離島である沖島振興、盲ろう者の活動支援、手話言語条例の制定要求などに取り組みました。

滋賀県の締結する契約に関する条例(いわゆる公契約条例)の制定とその取り組み、ものづくり県にふさわしい高等専門学校の新設など、県民生活に直結する課題解決に向けて誠心誠意取り組んできました。その活動報告については県政レポートなどでお知らせしていますので是非ご覧ください。

今江まさひこのホームページに活動報告や県政レポートを掲載しています。

Profile

- 昭和29年6月29日生まれ(満68歳)
- 昭和42年3月 近江八幡市立金田小学校卒業
- 昭和45年3月 近江八幡市立南中学校卒業
- 昭和48年3月 県立彦根東高等学校卒業
- 昭和53年3月 同志社大学法学部法律学科卒業
- 昭和53年4月 近江八幡市役所職員に採用
- 平成11年4月 議会事務局次長
- 平成15年4月 秘書広報課長
- 平成19年4月 滋賀県議会議員初当選
- 平成23年4月 滋賀県議会議員2期目当選
- 平成27年4月 滋賀県議会議員3期目当選
- 平成31年4月 滋賀県議会議員4期目当選

この間、総務・政策常任委員会委員長、防災・エネルギー対策特別委員会委員長、関西広域連合議会議員などを歴任

- その他
- 平成10年4月 船木町山の手自治会長
- 平成11年4月 岡山小学校PTA会長
- 家族/妻、一男、一女、猫のクーちゃん
- 趣味/山歩き、読書
- 特技/弓道 好きな言葉/誠心誠意



現在の役職

- ・チームしが県議団代表
- ・立憲民主党滋賀県連幹事長
- ・連合滋賀議員団会議常任顧問



保護猫から家族になったクーちゃん

郵便はがき

5 2 3 8 7 9 0

料金受取人払郵便

近江八幡局
承認
272

近江八幡市大杉町30番地1

滋賀県議会議員
今江まさひこ
後援会事務所 行

差出有効期間
2024年3月
31日まで
●切手不要●



ご意見をお聞かせ下さい

- ご協力いただける項目に4印をお願いいたします。
- 自宅やお店、会社の壁にポスターを貼ることができます。
- 近所や知人に、今江まさひこのチラシを配ることができます。
- 集まりの場に、今江まさひこを呼ぶことができます。
- ボランティアとして事務所の手伝いができます。
- 応援カンパに協力することができます。
- その他()

キリトリせん

●私は、本会の趣旨に賛同して入会します。

ふりがな	ご家族お名前		
あなたのお名前			
おとこ	〒	-	町
	近江八幡市		
	蒲生郡		
お電話	(0748)	-	
メール			

●近江八幡市・竜王町にお住まいのご家族・親類・友人・知人をご紹介します。

ふりがな	☎()-		
お名前			
ご住所	〒		
ふりがな	☎()-		
お名前			
ご住所	〒		
ふりがな	☎()-		
お名前			
ご住所	〒		
ふりがな	☎()-		
お名前			
ご住所	〒		

ご記入ありがとうございました。
※このハガキにより得た個人情報には後援会活動以外には使用いたしません。会員様より情報の訂正、削除のご希望があった場合には速やかに対応させていただきます。また、お知り合いをご紹介いただく際には、必ずご本人様のご了解を得てくださいませよう、お願いします。

すべての人に居場所と出番のある共生社会を!

戦後、私たちは日本国憲法の三原則である「国民主権」「基本的人権の尊重」「平和主義」のもとに平和で一人一人の国民を大切にすることを目指して努力してきました。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大が続き、またウクライナ戦争や円安の影響で物価高騰はかつてないほど県民生活を圧迫しています。このような状況下において格差社会はますます広がり、

1 子どもの生きる力を育み、若者や女性が輝く社会の実現

- 保育所持機児童の解消、35人以下学級のさらなる推進、児童虐待の防止、いじめ対策、通学路の安全対策、ヤングケアラーへの支援、学童保育の充実、周産期医療の充実、私学振興など子育て環境日本一の滋賀をめざします。
- 仕事と家庭の両立を可能とするワークライフバランスを確立するとともに、女性の活躍の徹底支援をして子育て環境を整えます。
- 子ども医療費の無料化拡充や高校授業料無償化の所得制限撤廃、給付型奨学金の拡充、学校給食の無償化など子育てや教育の負担を軽減します。

2 すべての人に居場所と出番があり、最期まで健康で充実した人生を送れる社会の実現

- 新型コロナウイルス対策として医療療養体制や検査体制の強化をし、影響を受けている中小企業や個人事業主の支援と雇用の確保を進めます。
- 原油価格・物価高騰対策の充実を図ります。
- がん対策や認知症対策の充実、介護支援や在宅看取りの推進などにより県民のいのちと健康を守ります。
- 医療・介護・福祉・保育などに関わる人材を育成するとともに、処遇の改善を進めます。
- 障がいのある人もない人も尊重され、すべての人に居場所と出番のある共生社会を実現するため、発達障がい児者への支援、特別支援学校の環境改善、盲ろう者への支援制度の拡充、難病対策などを進めます。
- 滋賀県手話言語条例の制定をめざします。

子どもの貧困問題も深刻化する中で虐待事例も後を絶ちません。こうした中で私は「人の力」を活かし「いのち」を守る「草の根自治の滋賀」を発展させていきます。そして、すべての人に居場所と出番がある共生社会の実現のため、三日月県政と連携しながら「チームしが」とともに7つの視点で政策を進めていきます。

3 滋賀の強みを生かし、新たな強みを生み出す 滋賀発の産業と雇用の創造

- 中小企業の活性化の推進に関する条例を活用しながら、モノづくり産業を中心に中小企業や小規模事業所をきめ細かく支援します。
- 世界農業遺産、ピワイチ、日本遺産等を活用した観光振興と公共交通条例の制定・交通ネットワークの整備を促進します。
- 環境こだわり米をはじめ滋賀県の農産物のブランド化の推進・オーガニック農業のさらなる推進や農業経営安定のための戸別所得補償制度の復活をめざします。
- 滋賀県の締結する契約に関する条例(いわゆる公契約条例)により公共サービスに従事する人の働く環境を改善するとともに「働き方改革」を一層推進します。

4 琵琶湖をはじめとする恵み豊かな環境といのちの共感を育む社会の実現

- 琵琶湖保全再生法の活用をはかり、琵琶湖の水質保全や水草、外来生物の除去を積極的に進めるとともに琵琶湖の漁業を守り育てます。地球温暖化対策のためのMLGs(SDGsの琵琶湖版)やCO2ネットゼロ計画を推進します。
- 再生可能エネルギーをベースとした新しいエネルギー社会の構築を進めます。
- 内湖再生事業の推進や琵琶湖の水源地である森林整備・県内産木材の活用を進めます。



5 人や「もの」が行き交う活力ある 県土づくりと安全・安心社会の実現

- ダムだけに頼らない流域治水政策を充実し、これまでの風水害などを教訓にして日野川をはじめとする河川整備を進めます。
- 県民の利便性向上や安全のため高規格道路や県道整備を推進します。
- 市町と連携しながら消防団や地域防災組織の支援を進めます。
- 特殊詐欺対策ならびにサーバーセキュリティー対策を推進します。

6 「文化とスポーツの力」を活かした元気な滋賀の創造

- 地域の文化財保護やアール・ブリュットの総合的な振興、(仮称)新琵琶湖文化館の整備により「美のしが」を推進します。
- 2025年国スポ・障スポの開催に向けた競技力向上と機運醸成を図ります。
- スポーツ指導者や部活の指導者の養成・研修を進めます。
- 彦根城の世界遺産登録の推進をします。

7 「新しい公共」の推進と財政健全化、議会改革

- NPOや住民組織への支援により「新しい公共」を推進するとともに、県庁力を最大化するためにDXへの対応の加速化を進めます。
- 雇用拡大による税収増や行政の効率化により財政の健全化をめざします。
- 県議会と住民の皆さんとの関係強化や県議会の政策形成機能を向上させるため、県民参画委員会などの拡大や議員提案による条例制定を一層進めていきます。

